



土に触れ、緑を育てる、自然の中で暮らすひととき 滞在型市民農園（クラインガルテン）



事業の背景・目的

農業離れによる農地の遊休化の増大、若者の町外の流出による過疎化などの対策として、**東北初の市民農園**となる不動尊クラインガルテンが平成12年に開設。好評を得て、新たに筆甫クラインガルテンを平成17年に開設した。



丸森町のクラインガルテンの特徴

特長① 地域主導で企画・運営

指定管理者である管理組合が、それぞれの地域で季節にあったイベントを自由に企画。管理組合、入居者、地域住民がともに交流を満喫。



納涼祭ともちつき会の様子。

特長② 交流人口の増加

田植え体験などを通じて、農業に興味を持つ都市部住民の参加が増加。本町がモデル地区となり視察する市町村も増加。



田植え体験の様子。

入居者から町内へ移住者が生まれた！

<不動尊クラインガルテン> 4名
<筆甫クラインガルテン> 1名

不動尊クラインガルテン

- 農園区画数 18区画
(1区画約300㎡)
- 利用料 年額360,000円 (月30,000円)
※光熱水費は別途
- 利用者の状況
＜利用者の居住地域＞ 県内9組 県外9組
＜利用者の年齢＞ 35歳～71歳 (平均58歳)



筆甫クラインガルテン

- 農園区画数 8区画
(1区画約300㎡)
- 利用料 年額360,000円 (月30,000円)
※光熱水費は別途
- 利用者の状況
＜利用者の居住地域＞ 県内6組 県外2組
＜利用者の年齢＞ 32歳～68歳 (平均58歳)

